

2021年度一般社団法人日本学生サーフィン連盟活動概要

2021年度も前年同様にコロナウイルスの収束の兆しは見えない中、
学生生活含め様々な制限が続き対面での活動が難しい中でリモートによる協議を重ねて参りました。
2019年前半は各スポーツイベントが実施されない中、NSSAも秋季大会のみの開催でしたが、
2021年は市中感染状況を考慮し、感染症予防対策を講じた上で、春季は日本サーフィン連盟学連支部予選を開催、
秋季は大会50周年の節目の学生選手権を開催する事が出来ました。
本来であれば記念すべきイベント等を実施したい処では有りましたが状況下を踏まえ断念し、
記念となるタオルを作成し関係される皆様に配布させて頂きました。
厳しい環境下で本活動ができました事ひとえに皆様方関係各所のお力添えのおかげと心から深く感謝申し上げます。

活動の概要

(1) 第55回 全日本サーフィン選手権学連支部予選

2021年6月26日(土)

千葉県南房総市 千倉海岸

エントリー人数延べ53名

*例年であれば新入部員、これから上を目指す学生の為の春季学生選手権を同時に開催しておりましたが
コロナ状況が改善されず1日のみで感染対策を施し支部予選のみの開催を実施致しました。
全日本選手権出場枠として10名の選手が本選に選抜されました。

(2) 第50回 秋季全日本学生サーフィン選手権大会

2021年11月27日(土) ~11月28日(日)

千葉県 鴨川市 東条海岸

現役学生 延べ149名エントリー、OB 延べ50名エントリー

*2020年度は現役学生のみ1日開催でしたが、2021年度は現役学生が初日、OBが翌日とし
出場選手同士が重複しないよう対策を講じて開催を致しました。
現役学生は関西、九州方面など全国より多くのエントリーが有り前年を上回る参加を頂きました。
開催にあたり、昨年同様大会での感染防止ガイドラインを作成、選手、運営スタッフ全員、
2週間前より事前検温と問診表を当日の検温時に提出、カラーゼッケンの消毒など対策を実施、
厳しいコンディションでしたが速やかなポイント移動により予定していたヒートは全て消化でき
大会事後2週間後の健康状態も問題なく無事終了致しました。

対外活動の概要

(1) 一般社団法人日本サーフィン連盟主催

第55回全日本サーフィン選手権への参加

2021年10月9日(土) ~10月15日(金)

福島県南相馬市北泉海岸にて実施、学連支部より18名が選手として参加

結果、メンクラスにて2018年優勝、2019年準優勝の石川拳太選手(神奈川大OB)が見事優勝致しました。

ロングボードメンクラスでは同じく神奈川大学の平田拓海選手が4位入賞を果たしました。

(3) 地域と次世代に向けた協力

第2回 白渚feグロムチャレンジ

2021年11月20日(土)

千葉県南房総市白渚海岸

NSSAテント備品の貸出協力

詳細：<https://www.surfnews.jp/contest/50190/>